

広報

平成26年

まつの

1 月号

January



今まで
ありがとう!

今年から新しい校舎での学校生活が始まります!



年頭のご挨拶

松野町長 阪本 壽明

あけましておめでとうございます。

平成26年の年頭にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、日本列島各地において、大気的不安定な日が多く、梅雨明け以降、連日のように猛暑日が記録され、水不足も心配の中、突然の雷や竜巻・集中豪雨、数多い台風などによる災害が多発した年でありました。

とりわけ、台風26号による豪雨災害では、東京都の伊豆大島にて多大な被害が生じ、早期復旧に向けて懸命の努力が続けられており、改めて被災された方々にお見舞いを申し上げます。

本町では、4月に暴風警報発令で、第24回まつの桃源郷マラソン大会は中止となりましたが、台風等の影響も比較的少なく、大きな災害もなく、越年することができました。

しかし、地球温暖化の影響等による異常気象は、経験のない短時間集中豪雨や巨大台風、さらには南海トラフ大地震など、大災害に備えた危機管理とハード、ソフト両面からの防災、減災対策に力を入れ、住民の命を守ることを最優先として努めなければなりません。

一昨年末に自由民主党が政権に復帰し、安倍総理の強力なリーダーシップのもとに経済対策「アベノミクス」により、円高、デフレからの脱却が図られております。

また、2020年には東京においてオリンピック開催が決定し、明るい兆しが見えてきています。

しかし、その効果はなお一部の企業、大都市に

とどまっております、地方が経済活力を取り戻すには道半ばであると考えます。

社会保障と税の一体改革、安定へ消費税率8%を決定するとともに、経済対策を打ち出しております。

T P P交渉におきましては、農林水産分野の重要5品目などの聖域を守り、国益の堅持に万全を期してほしいと思います。

また、それに関連して、農地を大規模農家に集約し、経営体育成や6次産業化など、農政改革と攻めの強い農業を目指しています。

さて、本町におきましては、キラリと光る森の国のまちづくり第2章、現場主義を基本に、気配りと調和と特色を活かした地域づくり、地域農業の再生、安心安全、健康福祉、教育文化の振興などを基本として取組んでまいりました。

特に、重点的な事業として、次代を担う子供たちの安心安全、快適な学校教育の整備のための松野中学校建設事業を始め、農地開発団地の再生プロジェクトや、特産品生産振興と農作業支援対策、鳥獣被害対策実施隊の設置、N P O森の息吹の設立、資源活用の処理加工施設整備、虹の森公園青空市場等改修計画、アウトドアイベントなど、いやし博効果の持続性へ予土連携観光交流事業を進めてまいりました。

また、防災、減災対策として、各種訓練や自主防災会の活動支援、がけ地防災対策事業や、治山、林道事業、国、県道、主要町道の改良事業、携帯電話エリア整備事業などに取組んできたところであります。

迎えた平成26年は、正に、国、地方にとって、試練の年であると思います。

景気が上向きつつあるとき、消費税の増税による影響も懸念される中、引上げ分の税収は、社会保障サービスの維持、充実に充てることになっております。

領土問題や外交、防衛、T P P交渉、原発、エネ

ルギー問題、介護福祉制度、経済再生と財政健全化など、大きな変革の動きをしっかりと注視していかねければなりません。

また、瑞穂の国、日本の食と環境を守るコメ政策を、約半世紀ぶりに大きく転換して、生産調整（減反）制度を5年後に廃止し、補助金を見直す新たな政策が進められようとしています。

このことは、経営規模が零細な農家が多い中山間地域の農業にとって厳しい経営環境になったというのが率直な思いであります。

このため、町全域を対象に現在策定をしております「人・農地プラン」をベースにして、農家メリットのある作物の導入、有利な補助金、交付金の組合わせと農地の有効活用、中核担い手による経営体制づくりなど、中山間地域農業の将来ビジョンを打ち出し、農家の皆様と共に汗を流し、英知を結集して、農政の大転換、激動の時代を乗り越えていきたいと決意をしております。

今年は、待望の松野中学校が完成し、安全で温もりとやすらぎに満ちた木造の新校舎で子供たちが、誇りと愛着を胸に、心身共にたくましく育つことを念願すると共に、虹の森公園青空市場のリニューアルオープンや、特産品生産、付加価値化、若者定住住宅政策、こども、子育て支援事業計画の策定、生きがい健康長寿、安心安全の町づくり、庁舎改築基本計画並びに公共施設等の耐震化、改修計画の策定、自然エネルギー活用プロジェクトなど重要課題に対応した施策事業を展開し、「森の国輝ける未来づくり、愛顔あふれる希望と活力に満ちた町」の実現に最善を尽くして参りたいと存じます。

町民各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が町民の皆様にとって健康で幸多き飛躍の年になりますよう、ご祈念申し上げます、新年の挨拶と致します。

特集

～活躍する町民たち～

パラリンピック出場

井上 聡さん

井上聡さん（富岡）は、日本の車いす陸上の第一人者として活躍しています。車いす陸上では最も障害が重いクラスで数々の日本記録を打ち立て、2012年に行われたロンドンパラリンピックにも日本代表として出場しました。また、昨年行われた大分国際車いすマラソン大会では選手宣誓も努めています。最近では、講演会などで障害者スポーツの普及啓発を行うほか、後進の指導にも力を入れている井上さんですが、2年後のリオデジャネイロパラリンピックに向けて、毎日トレーニングに励んでいるそうです。



僕は、昔から目立ちたがり屋で、他人がやらないことをすることが好きでした。交通事故に遭い、車いすが手放せない生活になりました。そして、車いす競技に出会ったおかげで、スポーツ選手として注目されるようになり、充実した生活が送れるようになりました。昨年はロンドンパラリンピックで浮き彫りになった課題に取り組んだ一年でした。2年後、6年後に向けて、レベルアップしていきたいです。

また、自分と同じ障害を持つ人たちにも、自分の競技する姿を見てもらい、少しでも車いすスポーツに興味を持ってもらうきっかけになればいいと考えています。

井上 聡

愛媛県美術会大賞

曾根 すず子さん



曾根すず子さん（豊岡）は、第62回秋季県展日本画の部で愛媛県美術会大賞を受賞しました。曾根さんの作品「幾星霜を経て」は、古くからある樹を仰ぎ見る視点から描いたもので、繊細なタッチや色遣いで樹の力強さや存在感を表現し、幾星霜を重ねてきた樹の歴史を感じさせるものとして高い評価を得ています。

2本の大会新を樹立

岩城 一弘さん



2年前に洋画から日本画に転向しましたが、大好きな絵でこのような賞をいただき嬉しく思います。いつも、励ましや応援を下さいます皆様、本当にありがとうございます。今後も大好きな絵を描き続けていきたいと思っています。ご指導の程、よろしく願います。 曾根 すず子



10月12日～14日の日程で、第13回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」が東京都調布市の味の素スタジアムをメイン会場に行われました。視覚障害者男子2部で出場した岩城一弘さん（松丸）は、ソフトボール投げと立ち幅跳びの2種目でそれぞれ大会新記録を出して金メダルを獲得しました。

今回、愛媛県代表として全国障害者スポーツ大会に参加しました。代表になってから、日本一になりたいという思いで一生懸命練習に取り組み、全国大会に挑みました。その結果、2種目とも大会新記録で金メダル獲得という目標を達成することができ、とても嬉しく思います。応援してくださった皆さんや指導者の方々に感謝しています。次回も金メダルをねらいます。

岩城 一弘



12
1

吉野生地区合同避難訓練

吉野・蕨生・奥野川地区の自主防災会主催による合同の避難訓練が12月1日(日)に行われました。

当日は、午前8時30分に防災無線から「緊急地震速報」が放送されました。揺れが収まった旨の放送を聞いて、参加者は屋外に避難を開始し、各組や集落単位で集まり、それぞれの安否を確認しあいました。

今回の避難訓練は大規模な地震により、各地で火災や建物倒壊、地滑りなどの被害が頻発し、携帯電話や固定電話が使用できないといった想定で行われています。組単位で選定した1次避難場所から、部落で選定した2次避難場所へ移動し、各組の代表者がとりまとめた安否や被害の情報を自主防災会へ報告しました。(情報伝達訓練) 大規模な災害が発生した場合などには、道路が通れなくなったり、電話が使えなくなったりして、役場などの公的機関と連絡がとれなくなる可能性があります。そのような時に、地域住民が連携して情報を取りまとめることでスムーズな情報伝達が可能となり、役場や消防などの支援も迅速に行えるようになります。今回の訓練では、各区長が、部落単位でとりまとめた情報を、消防団の無線機を使って役場に連絡しました。

訓練終了後は、各地区の自主防災会役員らによる合同の反省会が開かれ、今回の避難訓練で明らかになった問題点や、今後の課題などが話し合われました。

主催者の1人である吉野区長は、「今回の避難訓練は、初めての試みで慣れない部分も多くあったが、とりあえずやってみたいことには、実際に大震災に遭遇した時のイメージが浮かばない。住民ひとり一人が防災に対する関心を深めるためには、このような大規模な訓練は無駄にはならないし、訓練後にはきちんと話し合いを行い、課題を明確にしておく必要がある。」と語り、地元の防災意識の高揚に手ごたえを感じていました。また、訓練終了後は各部落に分かれ、消火訓練や炊き出し訓練なども行われました。

国の被害想定によると、松野町で起こり得る地震の最大震度は震度6強です。阪神大震災に匹敵する揺れが到来する可能性が示されています。今回の避難訓練は、このような大災害に備えて、防災について考えるよいきっかけになったのではないのでしょうか。

地震発生!

地震発生!



安否や被害の情報は、2次避難場所へ伝えられます! (写真は吉野部落の避難場所)



住民は1次避難場所へ避難し、お互いの安否を確認します! (写真は蕨生谷口組)



問題点などの分析や意見交換!
(写真は合同反省会の様子)



被害などの情報を区長が役場に連絡!
(写真は吉野地区自主防災会)

炊き出し訓練や、防災資器材などの取扱訓練も行われました。



チャリティーレクバレー大会



体育指導員会主催のチャリティーレクバレー大会がスポーツ交流センターで開かれました。

この大会は、スポーツに親しみ、スポーツを通じて社会福祉に寄付することを目的に毎年行われています。

午後4時、6時、8時、10時からの4部門で、1チームが3試合ずつ行い、部門ごとに順位が決められます。

今回は、町内外のスポーツクラブや職域など各種団体から31チーム、230人が参加し、和気あいあいと、和やかに試合が進みました。

当日は、それぞれのチームから7万3243円ものチャリティー募金が寄せられました。この募金は、毎年町内の福祉施設に送られており、今年は特別養護老人ホーム古城園に寄付されます。また、体育指導委員会による「チャリティーうどん」の販売も行われ、選手たちは温かいうどんに舌鼓を打ちながら、チームの親睦を深めていました。このうどんの売上も募金と合わせて古城園に寄付されるようです。

参加されたチームの皆さん、温かい募金がありました。

12月7

千支のちぎり絵教室開催



吉野生公民館で千支のちぎり絵教室が開催されました。

この教室は公民館文化事業の一つとして、優れた技術を持つ身近な先生からその技を学び暮らしに役立てようと企画されたものです。今回は、吉野在住の岡本愛子さんを講師に迎え、来年の千支をデザインしたちぎり絵づくりに小学生3名を含む16名がチャレンジしました。

和紙をちぎって、糊で貼り付けるちぎり絵は、一見簡単そうに見えても、細かい作業が多く根気のいる仕事です。講師歴40年の岡本さんの指導で、かわいらしい馬の形が出来上がるにつれ、参加者の気持も高揚し手芸に没頭していききました。きれいに出来上がった作品を手にした参加者からは、満面の笑みがこぼれていました。

また、会場には岡本さんの作品も展示され、四季折々の風物や景色を見事に表現したちぎり絵に、参加者らは感心して見入っていました。岡本さんは、「若い世代のみなさんにちぎり絵の魅力を知って楽しんでほしい」と話していました。この教室は大人から子供まで、幅広い世代の交流の場となったようです。

吉野生地区公民館では、地域のみなさんの学習活動を支援しています。

今回は、「命の貯蓄体操」体験教室を1月17日(金)と1月23日(木)に予定しています。

呼吸法を交えた健康体操を学んでみませんか。参加希望の方は吉野生公民館に(☎42・0801)までご連絡ください。

12月8

天ヶ滝もみじまつり

11/17

奥野川地区で「天ヶ滝もみじまつり」が開催されました。

この催しは元々、奥野川地区の住民が各家庭から肴を持ち寄り、天ヶ滝の紅葉を見ながら酒を酌み交わすといった、地域の親睦会のようなものでしたが、いつの間にか町内外からも参加者が集まるようになり、町を代表するイベントのひとつとなっています。また、地域住民が手作りで行っていることもこのイベントの特徴です。現在では都会に出ている地元奥野川の出身者たちも、イベント目当てに帰省し、懐かしい顔ぶれに肩を抱き合う風景が至る所で見受けられました。

当日は、風が強く少し肌寒い日でしたが、大勢の人たちが訪れ会場を賑わせました。オープニングでは、鬼城太鼓の演奏が谷間に響き渡り、天ヶ滝の水音と相まって、雅びな雰囲気を漂わせます。会場では、おでんや焼き芋などの販売も行われ、来場者は温かい食べ物に舌鼓を打ち、冷えた体を温めていました。祭のフィナーレにはもちまきも行われ、坂道を転がる丸餅を必死で追いかける子どもたちが、来場者の笑顔を誘いました。



小・中学校音楽発表会

11/21



コミュニティセンターで、町内の小・中学校の児童・生徒による音楽発表会が開催されました。今回で55回目となるこの発表会は、町内の小・中学校の児童・生徒が一堂に会し、日頃の練習の成果を発表するもので、普段は関わることの少ない他校の発表を聞けるよい機会となっています。会場にはビデオカメラなどを手にした保護者や学校関係者が大勢集まり、子どもたちを見守りました。

オープニングでは、小・中学生全員で「ふるさと」を合唱し、その後学校ごとに合唱や合奏が発表されました。小学生は元気のよい合唱や合奏を、中学生は美しい混声合唱を披露しました。また、松野中学校音楽部の生徒による箏の発表も行われ、参加者たちは滅多に耳にすることのない箏の音色に聞き入っていました。

閉会式では、松野東学校の高田校長から、「皆さんの発表も素晴らしいものでしたが、発表を聞く姿勢もとても素晴らしく、感心しました。」と児童・生徒を称える言葉がありました。

まちづくり講演会

町民センターで、まちづくり講演会「ちよんまげ支援隊の被災地報告会」が行われました。

11月30日

この講演会は、NPO法人松野まちづくり青年会議が、松野町サッカースポーツ少年団の協力を得て企画したものです。

今回の講師は、サッカー日本代表の名物サポーターとして有名な角田寛和さんです。角田さんは、ちよんまげの恰好で東日本大震災の被災地を48回も訪問し、被災地でも「ちよんまげさん」の愛称で親しまれ、継続的に被災者の支援を行っています。また、国内外で被災地支援に関する報告会を開催し、支援の必要性を世界に発信しています。

講演では、「震災から3年経った今でも、避難所で生活している人たちがいるという事実を知ってほしい。」と述べ、震災当時から現在までの被災地の様子を、映像を交えて紹介しました。「映像には事実しか映っていない。私の言葉には、少なからず主観が入っている。主観は人それぞれ違うので、私の言葉を信じず、映像を見て読み取ってほしい。」と語る角田さん。映像では、3か月足らずで瓦礫が除去された都市部の様子や、震災から1年近く経過してもほとんど手つかずの状態である周辺部の様子などが紹介されました。その中でも牡鹿半島の小学校に注目し、校庭や校舎周辺に瓦礫が散乱し、プールにも土砂が堆積した状態であるにもかかわらず、授業が再開されている状況、津波の爪痕が色濃く残っている中で、子どもたちが明るく、他



の学校と変わりない学校生活を送っている状況が紹介されました。

映像の最後には「学校の周りはガレキの山。でも子どもたちの笑い声に、先生の明るさに、救いはありますよね」と綴られ、会場に感動を誘いました。

また、ちよんまげ支援隊の活動報告として、5日で13箇所の避難所を巡った被災地コンサートの様子や、避難所の子どもたちにJリーグの試合を楽しんでもらおうと企画したツアーの様子なども紹介されました。「ツアーに参加した子どもたちは、最初はつまらなそうでした。しかし、帰りのバスの中は笑顔で溢れていました。」角田さんは「支援に大切なことは、続けること。そのためには自分たちも楽しんで支援することが大事です。」と締めくくりに、拍手の中、報告会は終了しました。

ちよんまげ支援隊の中には松野町出身者もいます。あなたにも、できることがあるかもしれません。

森の国戦国武者伝走大会

虹の森公園を主会場に「戦国武者伝走大会」が開催されました。この催しは、段ボール製の甲冑を着てタスキをつなぐ駅伝大会で、今回が2回目となります。松野町は、伊予と土佐の県境に位置し、予土交易の中心として栄えたという歴史があり、今回の大会では、各チームがその所在地から伊予軍と土佐軍に分かれて競い合いました。

当日、開会式会場となった虹の森公園には、戦国時代さながらの甲冑を身にまとった約200人の武者たちが集結し、鬼城太鼓による陣ぶれ太鼓の演奏の後、来賓である県南予地方局長の出発合図で一斉に出陣しました。選手たちは、全長約15km、比高差最大88m、砂地、階段、山道を含む険しいコースを、5人でタスキをつなぎながら走り抜けました。第1区は陣が森、2区は永昌寺、3区は大森城、4区は御威神社、最終5区は河後森城跡をそれぞれ折り返すコース。各区のチェックポイントでは、先頭の選手が到着すると狼煙が上がり、まるで戦国時代の合戦のような雰囲気を感じました。

武者伝走駅伝大会の特徴である甲冑は、選手自らがデザインしたもので、それぞれが個性的に装飾されており、見る人を楽しませます。そのデザインや走行中のパフォーマンスを競うのもこの武者伝走大会の醍醐味です。優秀な成績を残したチームには大会長である阪本町長から、俸禄として米や地酒、野菜などが贈られました。

また、当日は「予土うまいもの合戦」と「県境サミット」も同時開催され、日本の在来馬である「のま馬」の体験乗馬もあり、会場を盛り上げました。



12月1日



ベスト甲冑賞
「TEAMらんばか」の皆さん

男子の部1位 愛媛県庁遊走会「おせつ隊」
女子の部1位 きぼキュン♡フルーツ缶
ベスト甲冑賞 TEAMらんばか 大うつけ賞 ちよんまげ支援隊



人権の広場

～松野南小学校の取組から思う～

本校の児童数は11名。人数が少ない分、仲の良さは抜群で、日本一ではないかと思うほどです。1年生から6年生まで11名が、一緒に遊び、一緒に働き、一緒に話し合うこともあります。まるで兄弟姉妹のように過ごしています。しかし、逆に仲がいいから、言葉遣いが荒くなったり、聞いている私の方が気になる言葉を使ったりしている場面もときどき見られます。

さて、今年も11月24日に人権・同和教育参観日を開催し、保護者や地域の人たちに人権・同和教育の視点に立った授業や人権集会を見ていただきました。

なかよし集会（人権集会）は、「友達について考えよう」というテーマで、人権標語を発表したり学級の出し物を披露したりしました。1・2年生は、「友達」というテーマで詩を作り、発表しました。4・5年生は、目の見えない人のために、お金にはどんな工夫があるのかを調べ、実演を交えて発表しました。

そして6年生は、全校児童から「友達から言われてうれしかった言葉」と「家の人から言われてうれしかった言葉」のアンケートを取り、それをクイズ形式にして発表しました。「友達に言われてうれしかった言葉」の第一位は、「ありがとう」で、以下「また遊ぼうね」「大丈夫」「上手だね」でした。

「家の人に言われてうれしかった言葉」の第一位は、「頑張ったね」で、以下「えらいね」「ありがとう」「すごいね」という言葉がありました。

内閣府の「国民生活に関する世論調査」の中で、「家庭の役割」には、「家族団らん、休息・安らぎ、家族の絆を深める、親子ともに成長する」などがありました。すなわち家庭とは、心身を休め、活動のエネルギーを補給するための「癒し」の機能を有する場所ということになります。

子育て真っ最中の皆さん、我が子のありのままを認めて誉めていきましよう。我が子の悪いところや嫌なところは、よく目につくものです。でも、そんなに悪い子はいません。誉めるところがいっぱいあるはず。子どもが「うれしがる言葉」「気持ちよくなる言葉」をたくさん使って、「自分にもこんないいところがあるんだ」「自分は、自分のことが大好き」という自尊心をもった子どもたちが、一人でも多くなることを願ってやみません。

松野南小学校人権・同和教育主任

芝

晋一

松野町に野生の鶴



11月24日、松丸祝井地区に野生の鶴が舞い降りしました。右の写真は、松丸の柳野治示さんが撮影したものです。鶴が滞在した時間は約1時間。柳野さんの話によると、飛来した鶴は「真鶴（マナヅル）」という種目で、環境庁が発表しているレッドリストで、「絶滅危惧Ⅱ類」に分類されているとても珍しい鳥のようです。

柳野さんは、「私の記憶する限り、松野町に鶴が飛来するのは初めて。縁起が良いのでまた来てほしい。」と話しています。

ま ち の 投 句 箱

葛句会 十一月例会句会 於 町民センター

夕映えの茶の花はのと妣の影 伊藤 富子
千本の灯点す棚田祭りかな 金谷 重子
どこ抜けてきた猫の尾の草薺 金谷 文恵
大島の災害跡や冬に入る 木下三千恵
黄落や農民一揆の歴史塚 駒山 忠夫
青空へ汽笛一声石路の花 谷 きよし
山里へ帰郷十年石路の花 布 久光
奥伊予の山河悠然冬紅葉 布 康江
賞を受く育樹祭なり殿下の前 ひのたいら
一本をまるごと買ふて柿餅す 宮崎きくを
石路咲くやなお悲しみの捨てきれず
山下スミ子

吉野句会 十一月例会句会 於 吉野生公民館

一片の雲なき冬の月仰ぐ 赤松 午子
良き事の二つ続きて菊日和 稲谷キミ子
立冬や川面ざわめく瀬張り漁 上田みち子
草紅葉滑走路に添ひまっすぐに 岡本 三葉

俳句のポスト投句作品優秀句 十一月投句分

《不器男記念館》

満月が映って見える広見川

不器男句碑音なく濡らす冬の雨 松野町 高田 大輝
鬼北町 中尾 正

《目黒ふるさと館》

柚の香のそこはかとなし大根飯

松野町 田中志津代

森の国歴史発見！文化財通信

「目黒山形関係資料」の修理を行っています！

現在、福岡県太宰府市所在の九州国立博物館内で実施している「目黒山形関係資料」の修理事業について、11月12日に文化庁美術学芸課の調査官の立ち会いのもと、修理作業の方法や工程に関する調査の検討会を行っています。

修理作業の中心は、模型の製作に関する江戸時代の手紙や測量帳簿などの古文書（約200点）となっています。これらは今から350年前に書かれたものですが、今回の修理に伴う調査で、実にいろいろな種類の紙が使われていることがわかりました。厚めに繊維が入り不純物が少ない高価な紙、逆に薄くて不純物が多く入る安価な紙など様々です。修理では、この多様な紙質に対応するために、補修紙をすべて当時と同じような手すきでつくり、虫穴などを手づくろいで、一冊一冊、一枚一枚、一箇所一箇所、直していきます。

そのほか、シワ・折れのばし、汚れのクリーニング、ラベルの新調なども行うことを確認しましたが、今年度は約200点ある古文書のうち約30%程度を仕上げの予定です。次回の検討会は2月から3月の予定です。新たな修理情報については随時報告します。



▲修理検討会の様子

「河後森城の植生・景観調査」を実施しました！



▲秋空に燃えるような紅葉が参加者を魅了していました。

11月26日、第2回史跡見学会「河後森城の植生・景観調査」を実施しました。この見学会は、河後森城のより良い利活用を進めるため、河後森城における植生や景観について検討するために開催したものです。2回目の今回も、愛媛大学名誉教授の下條信行氏と江崎次夫氏を招き、本郭南側に自生するイロハモミジの観察と新城地区に移植しているオンツツジの育成状況を確認しました。

見学会当日は本郭南側に自生するイロハモミジが赤や黄色に色づいており、参加者は写真を撮ったり、眺めたりしながら紅葉の美しさを満喫していました。

また、新城地区では、河後森城に自生するオンツツジを斜面に移植する活動が続けていますが、今回はその育成状況を観察しました。観察の結果、育成状況は順調で今後とも継続して周辺における下刈りなどの手入れを実施していくことになりました。

お誕生おめでとうございます (敬称略)

(住所) (保護者) (出生児) (性別)
豊岡 毛利 公亮 芽生 女

延野々 高山 剛 賢人 男

久仁江 賢人 男

お悔み (敬称略)

(住所) (死亡者) (享年)

蔵生 岡本マサミ 95歳

ご冥福をお祈りいたします。

ご寄付お礼 (敬称略)

☆社会福祉協議会へ

岡本 敬邦 松野町

増川 光代 松野町

ありがとうございます。

町の人口

平成25年11月30日現在
※外国人を含みます。

世帯数 2,040世帯(+6世帯)

総人口 4,329人(+3人)
男2,032人 女2,297人
(11月中の異動)

○出生 2人 ○死亡 2人
○転入 20人 ○転出 17人

運営等の状況の公表

4. 職員の分限及び懲戒処分の状況

(1)分限処分

(単位：人)

休職	降給	降任	免職
0	0	0	0

※分限処分とは、職員がその職責を十分果たすことができない場合に、公務能率を維持するため、職員の意に反して行われる処分のことをいいます。

(2)懲戒処分

(単位：人)

戒告	減給	停職	免職
0	0	0	0

※懲戒処分とは、職員の義務違反に対して任命権者が課する制裁であり、職員の道義的責任を明らかにすることにより地方公共団体の規律と秩序を維持するための処分です。

5. 職員のサービスの状況

地方公務員法では、サービスの根本基準として、「全ての職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当たっては、全力を挙げてこれに専念しなければならない。」と規定しています。

松野町では、サービスの宣誓に関する条例をはじめとして、サービスに関する各種の規定により、住民の疑惑や不信を招くことのないよう、機会あるごとに注意を喚起し、サービス規律保持を図っています。

6. 職員の研修及び勤務成績の評定の状況

(1)職員研修の実施状況

研 修 名	日 程	参加者
新規採用職員研修会	5月15日～17日	2人
市町職員中級研修会	6月5日～7日	1人
四国地区人権教育研究大会	7月5日～6日	2人
危機管理研修	7月18日～20日	1人
クレーム対応講座	8月10日	5人
南予ブロック地域啓発講演会	8月26日	5人
面接試験技法研修会	8月28日	3人
南予地区人権・同和教育研究協議会	9月20日	2人
県人権・同和教育研究大会	10月1日	2人
市町職員課長級研修会	10月18日～19日	1人
地域コミュニティの再生研修	11月26日～30日	1人
全国人権・同和教育研究大会	11月30日～12月2日	1人
市町職員研修会（県人権協会）	12月3日	2人

(2)勤務成績の評定の状況

松野町職員の執務について定期的に勤務成績の評定を行い、これを統一的に記録、人事管理の基礎資料とし、もって公務能率の発揮及び増進を図ることを目的とした、「松野町職員の勤務成績の評定要綱」を規定しています。

7. 職員の福祉及び利益の保護の状況

(1)健康診断等の状況

区 分	概 要
職員健康診断	10月22日、コミュニティセンターにおいて、職員定期健康診断を行いました。
健康相談	上記職員健康診断後に、産業医、保健師による健康相談を実施し、職員の健康確保に努めました。
産業医職場巡視	月に1回、産業医と人事担当者が職場巡視を行い、業務環境を通じて健康障害の防止等に努めました。

(2)職場の安全衛生の状況

労働安全衛生法等に基づき、衛生委員会の設置、産業医及び衛生管理者等の配置を行い、快適な職場環境の実現と職場における職員の安全と健康の確保のため安全衛生管理体制を整備しています。

(3)公務災害の状況

区 分	認定件数	災 害 の 概 要
公務中	1	イベントにスタッフとして参加中、黄色スズメバチによる蜂刺症
通勤災害	0	

8. 公平委員会に係る業務の状況

(1)勤務条件に関する措置の要求の状況 該当なし

(2)不利益処分に関する不服申立ての状況 該当なし

(3)苦情の処理の状況 該当なし

松野町人事行政の

地方公務員法（昭和25年法律第261号）第58条の2及び松野町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例に基づき、平成24年度における人事行政の運営等の状況概要を公表します。

1. 職員の任免及び職員数に関する状況

職員の採用及び退職の状況

職員数

区分 職種	採 用	離 職									平成24年度末現在	
		退 職					免 職			合計		
		定年	勸奨	普通	死亡	任期満了	分限	懲戒	失職			
一般行政職	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	一般職員	80人
医 療 職	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
技能労務職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合 計	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1		

（注）一般行政職には、他に区分されない職種も含まれています。

2. 職員の給与の状況

(1)人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 （平成24年度末）	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B / A	（参考） 23年度の人件費率
年度	人	千円	千円	千円	%	%
24	4,362	3,251,558	121,324	514,811	15.8	18.5

(2)職員給与費の状況（普通会計決算）

区分	職員数 A	給 与 費				一人当たり 給与費 B / A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
年度	人	千円	千円	千円	千円	千円
24	62	209,445	15,925	78,225	303,595	4,897

（注）1 職員手当には退職手当を含みません。

2 職員数は、平成24年4月1日現在の人数です。

3. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

(1)勤務時間等

1週間の 勤務時間	1日の 勤務時間	始 業	終 業	休憩時間	週休日
38時間45分	7時間45分	8時30分	17時15分	1時間	土・日曜日

（注）1 勤務によっては始業、終業、週休日などが異なる場合があります。

(2)休暇

種 類	休暇の概要、取得の要件等	取 得 可 能 日 数 等	
有 給 休 暇	年次有給休暇	1年につき20日（前年の繰越日数の上限20日のため、最高40日）	
	病気休暇	公務災害、通勤災害の場合は必要と認められる期間 結核性疾患については1年、その他の負傷又は疾病については90日を超えない範囲内で必要と認められる期間	
	特別休暇 （主な休暇） 公民権の行使、産前休暇、産後休暇、忌引、結婚休暇、夏季休暇、その他 その他：裁判員、証人等として出頭する場合、骨髄提供者となる場合、ボランティア活動に参加する場合、子の看護をする場合、災害時など	公民権の行使	必要と認められる期間
		産前休暇	8週間以内に出産する予定である女性職員が申し出た場合に出産の日まで
		産後休暇	出産後8週間
		忌 引	配偶者・父母の場合7日等
		結婚休暇	連続する5日の範囲内の期間
		夏季休暇	7月から9月までの期間内における連続する3日の範囲内の期間
無給 休暇	介護休暇	負傷、疾病又は老齢により、2週間以上にわたり日常生活を営むのに支障があるものの介護をする場合 一の継続する状態ごとに、連続する6月の期間内	

各種無料相談所の開設

行政相談

【日時】	1月10日(金) 午前10時～正午
【場所】	町民センター 婦人室
【内容】	行政に関する苦情や要望
【相談員】	行政相談員(有馬節男)
【心配ごと相談】	
【日時】	1月10日(金) 午前10時～正午
【場所】	町民センター 老人室
【内容】	心配ごと相談
【相談員】	民生児童委員
【人権相談】	
【日時】	1月10日(金) 午前10時～正午
【場所】	町民センター 老人室
【内容】	人権相談
【相談員】	人権擁護委員

20歳になったら忘れずに 国民年金に加入しましょう！

国民年金は、日本国内に住む20歳以上60歳未満のすべての人が加入します。
やがて訪れる老後や、生活の安定を損なうような「万が一」の事態に備え、保険料を出し合い、お互いを支え合う制度です。

1 国民年金の加入者は次の3種類です。

- ① 第1号被保険者…自営業、農業、学生等20歳以上60歳未満の方
↓ お住まいの市町役場の国民年金担当窓口で直接手続きください。
 - ② 第2号被保険者…厚生年金保険、共済組合に加入している方
↓ 本人からの加入手続きは不要です。
 - ③ 第3号被保険者…第2号被保険者に扶養されている配偶者で20歳以上60歳未満の方
↓ 配偶者のお勤め先の事業主へ届出ください。事業主経由で年金事務所へ提出されます。
- ※20歳の前月に年金事務所から加入勧奨状(加入のお知らせ)が送付された方は、必ずご回答(手続き)ください。
加入手続きを済ませますと、年金手帳が交付されます。

ます。この手帳は、就職、退職をしたときや年金を受けるときなど、一生を通して使うため大切に保管してください。

2 毎月の保険料はいくら？

第1号被保険者の保険料は、月額15,040円(平成25年度の額)です。なお、保険料をまとめて前払いすることにより割引される前納制度もあります。

第2号被保険者の保険料は、勤め先を通じて納付されます。

第3号被保険者には、保険料負担はありません。

3 第1号被保険者で保険料の納付が困難な方は…
20歳になって、所得が少なく保険料を納めることが困難な方については、本人の申請により「学生納付特例制度」「若年者納付猶予制度」などの保険料免除制度を利用することができます。

4 問合せ先…お近くの年金事務所、または町民課

使用済植物油の回収について

1 新たに虹の森公園青空市場で回収が開始されました

町では使用済植物油の回収を行っています。ご家庭で使用した天ぷら油の回収にご協力ください。

2 町内拠点回収(ドラム缶回収)

次の3箇所へ使用済植物油回収用の緑色のドラム缶を設置していますので、中へ投入してください。

- ① コミュニティセンター
- ② 吉野生公民館
- ③ 黒基幹集落センター

3 「虹の森公園」ペットボトル回収

虹の森公園青空市場で、使用済植物油のペットボトル回収が開始されました。

これは愛媛県の地球温暖化防止推進対策の一つ「エコえひめ・ストッピーポイント事業」として実施されるもので、サービスポイントが付与されます。

① 場所

虹の森公園 青空市場に回収ボックスが設置されています。

② 方法

500mlのペットボトルなどの容器に入れて、青空市場の受付へ申し出てください。ポイントカードの受付を行います。



家族のつどい

宇和島保健所では、統合失調症発病後おおむね10年以内の人の家族が集まり、情報交換や学習会を行っています。安心して話せる場所です。1人で悩まず、あなたの胸のうちを話してみませんか？ぜひご参加ください。

① 日時 平成26年1月15日(水)

午後1時30分～3時30分

② 場所 宇和島保健所(南予地方局2階)

③ 対象 発病後おおむね10年以内の統合失調症の方の家族

④ 内容 座談会・学習会など

⑤ 申し込み・問い合わせ先 宇和島保健所 精神保健係

☎0895・22・5211(内線283)

えひめ・みかん祭り開催！

紅まどんな、いよかん、ポンカンなど、さまざまな旬の美味しいかんきつを生産者が対面販売するほか、コンクール入賞果実や珍しいかんきつを展示します。ポンジュース蛇口、みかん綿菓子、みかん餅つき、みかんクイズなど、楽しいイベントが盛りだくさん！

① 日時 1月25日(土) 午前10時～午後7時、26日(日) 午前10時～午後6時

② 場所 いよつ高島屋(松山市湊町)

③ 問い合わせ先 県農産園芸課
☎089・912・2566

新入社員の振り返りセミナー

入社1年目の人を対象とした「若手社員のコミュニケーションスキルアップセミナー講座」を次のとおり開催します。

1 講師

(株)コンシャスインターナショナル代表取締役 岩井 結美子氏(いわい ゆみこ)

2 内容

- ① お客様や上司との関わり方(先輩社員との世代間を理解する、可愛がられる若手と可愛がられない若手の違いを理解する)
- ② ストレスマネジメント(自分の強みを理解し、ストレス耐性を強化する)

- 3 日時 1月22日(水) 午後1時30分～午後4時30分(受付午後1時)
- 4 場所 宇和島第一ホテル(宇和島市中央町1-3-9)
- 5 申込締切 1月10日(金)
- 6 問い合わせ先 ジョブカフェ愛Work ☎ 089・913・8686
- えひめ若年人材育成推進機構(松山市湊町3丁目4-6 松山銀天街GETビル4F)
- ※参加は無料です。定員になり次第、締め切りますのでお早めにお申し込みください。

県職員が伺います!

県政出前講座

地域や職場での集会等に県職員が出張し、県の施策等を説明します。地域や職場、学校などのグループでお気軽にお申し込みください。

- ①場所 申込者側で準備してください
- ②定員 概ね20名以上
- ③申し込み方法 希望日の1か月前までに広報広聴課、地方局地域政策課、支局総務県民室へ
- ④問い合わせ先 県広報広聴課 ☎ 089・912・2243

臨床心理士による「こころの健康電話相談」のお知らせ

心配ごとや悩みごとを抱えて1人で悩んでいませんか。家庭や職場について、心と身体の不調についてなど、臨床心理士が電話で相談に応じます。相談は匿名で、秘密は厳守します。

- ①日時 1月26日(日) 午前9時～午後5時
- ②主催 愛媛県臨床心理士会・日本臨床心理士会
- ③電話 089・956・3120/☎ 089・956・3130(当日のみ通話可能)

再勧誘の禁止：?!

Q. 訪問販売のセールスマンがしつこく来て困っています。断っても何度も訪問してくるので迷惑です。対応するのも時間の無駄ですし、断っても「なぜ断るのか」、「わざわざ来ているのに失礼ではないか」などと言ってくる居座ろうとします。規制する法律はないのでしょうか。

A. 平成21年12月に改正された特定商取引法では、訪問販売に「再勧誘の禁止」の制度を導入しました。特定商取引法ではセールスマンは最初に消費者に接触したときに①正式名称②取扱商品の種類③契約の勧誘であること、つまりセールスであることを明らかにすることは以前から義務付けられていました。平成21年の改正では、これに加えて「契約の勧誘をすることについての同意を消費者から取り付けるように」努力することが定められました。そして、消費者が「契約しません」「帰ってください」と拒絶の意思を示した場合には、再勧誘をすることを禁止しました。

1 再勧誘禁止には2種類あります。

ひとつは、断られたら帰らなければならないということ、もうひとつはいったん訪問勧誘に行ったら断られた場合には繰り返し訪問勧誘に行ってはならないというルールです。

2 被害にあわないためのアドバイス

不要なものをはっきりと断る態度を身につけることが重要です。：が、失礼な態度をとると「忙しいので」といふ思いから「今は忙しいので」などといふ返事をしてしまうことがあります。今は忙しいと伝えてしまうと「後日ならばいいのか」、「時間をずらせばいいのか」と誤解されてしまうこともありますのではつきりと断りましょう。

3 消費生活に関する相談窓口

- 産業振興課 ☎ 0895・42・1116
- 県消費生活センター ☎ 089・925・3700



困ったときは、ピピッと相談!

民生委員・児童委員を紹介します

平成25年12月に町の民生委員・児童委員が一斉に改選されました。民生委員や児童委員は住民の福祉や日常生活に関する様々な相談窓口として「安全で安心な福祉のまちづくり」のために活躍しています。新しい民生委員・児童委員は次のとおりです。(任期は平成25年12月1日～平成28年11月30日まで)

氏名	担当部落	担当地区	区分	氏名	担当部落	担当地区	区分
坂本 直美	松 丸	新町・駅前・本町1・2・3	民生委員・児童委員	毛利 彰男	富岡・上家地	富民・小屋の川・上家地全域	〃
三好 淳子	松 丸	東新町・東天満・西天満・礁崎	〃	岡村 正一	目 黒	下組・中央1・国木谷	〃
山崎 義和	松 丸	向井・祝井	〃	中平あけみ	目 黒	中央2・西の川・上目黒	〃
山口真理子	延野々	東組・仲組・住宅組	〃	竹内 洋子	吉 野	町組・上在・豊盛	〃
岡村 勝	延野々	野尻・古井谷・五郎丸	〃	安西 博文	吉 野	西組・梁瀬・葛川	〃
曾根 藤光	豊岡後	1～8番組	〃	安藤 正延	蕨 生	鳥居・鈴井・真土	〃
後藤眞知子	豊岡後	9～12番組	〃	岡本 記子	蕨 生	谷口・延行・奥内	〃
毛利 達晴	豊岡前	1区～8区	〃	瀧本 精二	奥野川	奥野川全域	〃
毛利 峰子	豊岡前	9区・住宅組・福祉団地等	〃	沖 留美子	松 丸	町内全域	主任児童委員
古谷 敏子	富岡・上家地	古市場・地吉・久米地	〃	上田 昌彦	吉 野	町内全域	〃

1月の森の国行事予定表

日	曜日	予 定	当……休日当番医 古……古紙類回収日	可……可燃物回収日 休……年末年始の休業	不……不燃物回収日
12/28	土			中央診療所 芝不器男記念館 目黒ふるさと館	
29	日			中央診療所 芝不器男記念館 目黒ふるさと館	
30	月			葛川以外町内全域 中央診療所 芝不器男記念館 目黒ふるさと館	
31	火			中央診療所 芝不器男記念館 目黒ふるさと館	
1/1	水	市立宇和島病院外科☎25-1111 市立宇和島病院小児科☎25-1111	市立宇和島病院内科☎25-1111 市立津島病院☎32-2011	中央診療所 芝不器男記念館 目黒ふるさと館 広見斎場 虹の森公園	
2	木	宇和島社会保険病院外科☎22-5616 やくしじこどもクリニック☎24-1386	宇和島社会保険病院内科☎22-5616 町立北宇和病院☎45-1221	中央診療所 芝不器男記念館 目黒ふるさと館	
3	金	成人式 上甲外科クリニック☎25-5811 山下小児科☎23-0055		山本内科医院☎22-5100 市立吉田病院☎52-0611 中央診療所 芝不器男記念館 目黒ふるさと館	
4	土			中央診療所 芝不器男記念館 目黒ふるさと館	
5	日	穴戸脳神経クリニック☎22-0597 こおり小児科☎24-5633	楠崎内科☎24-2211 旭川荘南愛媛病院☎45-1101	中央診療所 芝不器男記念館 目黒ふるさと館	
6	月	仕事始め		葛川以外町内全域	
7	火			豊岡・延野々・富岡・目黒	
8	水			上家地以外町内全域 豊岡・延野々・富岡・目黒	
9	木			松丸・吉野（葛川除く）・蕨生・奥野川	
10	金	ウォーキングアドベンチャー		葛川以外町内全域 松丸・吉野（葛川除く）・蕨生・奥野川	
11	土				
12	日	どんと焼き（吉野生公民館 9:00～） 上田外科☎25-0100 こばやし小児科☎23-1150	中山内科胃腸科☎22-0707 市立津島病院☎32-2011		
13	月	中学校新校舎見学会（一般公開） 友松外科・胃腸科☎22-0410 やくしじこどもクリニック☎24-1386	石川循環器科内科☎20-0320 町立北宇和病院☎45-1221	葛川以外町内全域	
14	火			豊岡・延野々・富岡・目黒・上家地	
15	水			上家地以外町内全域 豊岡・延野々・富岡・目黒	
16	木			松丸・吉野・蕨生・奥野川	
17	金			葛川以外町内全域 松丸・吉野（葛川除く）・蕨生・奥野川	
18	土				
19	日	町内駅伝大会 河野整形外科クリニック☎22-1822 山下小児科☎23-0055		兵頭内科医院☎25-2772 橋本内科クリニック☎52-0808	
20	月			葛川以外町内全域	
21	火			豊岡・延野々・富岡・目黒	
22	水			上家地以外町内全域 豊岡・延野々・富岡・目黒	
23	木			松丸・吉野（葛川除く）・蕨生・奥野川	
24	金			葛川以外町内全域 松丸・吉野（葛川除く）・蕨生・奥野川	
25	土				
26	日	林整形外科クリニック☎23-0007 こばやし小児科☎23-1150	田中循環器科内科☎22-0504 溜尾整形外科医院☎52-3133		
27	月			葛川以外町内全域	
28	火			豊岡・延野々・富岡・目黒	
29	水			上家地以外町内全域 豊岡・延野々・富岡・目黒	
30	木			松丸・吉野（葛川除く）・蕨生・奥野川	
31	金			葛川以外町内全域 松丸・吉野（葛川除く）・蕨生・奥野川	